

眼前に広がる青々としたピッチ

町民総合運動公園に人工芝新設

◎人工芝を新設

町では、山田町民総合運動公園ラグビー・サッカー場に人工芝を新設しました。これは、公益財団法人日本サッカー協会やスポーツ振興くじなどの助成を受けてのもので、工事費は約1億3760万円。グラウンドは8150平方メートルあり、サッカーピッチ1面（少年用では2面）分となります。平成28年に本町で行われたいわて国体、平昌パラリンピックでの阿部友里香さんの活躍に続いて、本町のスポーツ振興が期待されます。

◎記念式典を開催

3月31日、山田町民総合運動公園ラグビー・サッカー場で、人工芝新設記念式典が行

われました。式には、来賓や町

内関係者、山田中学校と大槌学園、山田高校のサッカー部員、町と近隣市町村のサッカー少年団6チームなどが出席。主催者を代表して佐藤信逸町長が「すばらしい人工芝が完成した。日本サッカー協会をはじめとした多大な支援に感謝したい」とあいさつしました。その後、町と町サッカー協会から支援していただいた皆さんに感謝状を贈呈。最後にはキックオフイベントを行い、人工芝の完成を祝いました。山田中1年の佐々木悠翔君（当時豊間根小6年）は「人工芝の完成は待ち遠しかった。他にも、サッカー教室などたくさん支援してもらった。その支援に対する感謝の気持ちを忘れず、元気にサッカーに取り組んでいきたい」とお礼の言葉を話しました。

◎サッカー教室と記念試合

式典終了後、震災後から継続して支援をいただいている浦和



山田中 1 年（当時船越小 6 年）

田代 成琉君

町に芝生ができて驚きました。
芝は土と違ってボールが蹴りやすいので、気持ちよくプレーできました。



山田中 3 年（当時山田中 2 年）

中村 颯汰君

芝でのプレーは楽しいです。
これからここでも練習することができます。チームで成長し、中総体優勝を目指します！

レッズと横浜 F・マリノスのスタッフの皆さんによるサッカー教室が行われました。子どもたちは、声を掛け合うことや相手の動きを見ることの重要性を学びながら、笑顔で人工芝を駆けていました。

記念試合では、山田中と大槌学園の生徒が白熱のプレーを展開。両選手共にピッチを縦横無尽に駆け回りまし

た。

◎浦和レッズ杯で F C 山田優勝

3 月 31 日と 4 月 1 日には、浦和レッズ杯「第 1 回山田町ハーフトロフ少年サッカー大会」が開催されました。これは、人工芝新設を記念し、浦和レッズが優勝カップを提供したもので、宮古・大槌地域の 6 チームが出場。出場した選手たちは、芝の上で伸び伸びとプレーし、競い合いました。その結果、1 回目の優勝カップは F C 山田ヴェルエーニが見事手にしました。



迫力ある中学生のプレー



ボールをとおして交流



一緒に写真撮ったよ！



全力でプレーしました



完成を記念して